

コロナ禍における大学生のメンタルヘルス

日時：9月17日（金）14:00-15:30 オンライン（Zoom）開催

対象：神戸女学院大学学生・保護者・大学教職員 参加費：無料

講師：高石恭子先生（甲南大学文学部教授・学生相談室専任カウンセラー）

新型コロナウイルスが世界中に感染拡大してから1年以上が経ちましたが、新たな変異株の発見など、まだまだ収束には至らない状況が続いています。大学の授業は遠隔に切り替えられ、大学生は外出自粛を迫られ、あるはずだったキャンパスライフが失われ、自由にキャンパスに入ることままならない日々が続いています。今まで当たり前だったことが当たり前ではない生活の中で、大学生が感じている喪失感、不自由さ、孤独感はどれほどのものなのでしょう。一方で、自宅で授業が受けられる気楽さから、外出が苦手な人にとってはありがたいという声もきかれます。しかし、多くの大学生は大学生活がこのまま終わってしまうのではないかと、という不安を抱えているのではないのでしょうか。

この毎日をどんな気持ちでやり過ごし、乗り越えていったらいいのだろうか、自分の不安は自分だけが感じているものなのだろうか、自分はこのまま社会に出ていくことができるのだろうか、そんなふうを感じているみなさんに、今回、長年学生相談に携わってこられた甲南大学文学部教授の高石恭子先生のお話を伺う機会を得ることができました。後期の授業をどんな気持ちで迎えたらいいのかを考える上で、参考にさせていただきたいと思います。たくさんの皆さんのご視聴をお待ちしております。

講師紹介：高石 恭子（たかいしきょうこ）氏

甲南大学文学部教授、学生相談室専任カウンセラー。京都大学博士（教育学）。臨床心理士、公認心理師。1989年より学生相談に従事、乳幼児期から青年期の親子関係や、子育て支援の研究も行う。近著に「自我体験とは何か」（創元社、2020年）、「子育ての常識から自由になるレッスン」（世界思想社、2021年）、編著に「学生相談と発達障害」（学苑社、2012年）、「学生相談ハンドブック新訂版」（学苑社、2020年）等多数。



- ・お申込みはカウンセリンググループのウェブサイトの特別講義申込みサイトからお申込みください。特別講義申込みサイトにログインするためのユーザー名とパスワードは、Moodleの全学生WEB掲示板、および学報No. 192に同梱のチラシに掲載しています。
- ・お問合せは神戸女学院大学カウンセリンググループまでお願いします。
TEL：0798-51-8541 月～金 10:00～17:00
- ・土日と、開講日でない祝日は閉室しておりますので対応できません。
また夏季休業中は開室日が変更になることがあります。ウェブサイトで確認してください。

